

「青森市財政プラン（2019～2023）ローリング版」及び「令和3年度予算編成方針」の概要

青森市財政プラン（2019～2023）ローリング版

1 財政の健全性維持のための「ローリング版」

◇ 国等の制度改正や毎年度の決算状況を踏まえ、「青森市財政プラン（2019～2023）」のローリングを実施。

2 R5 末 財源調整の「基金」50 億円確保

◇ 財源調整のための3基金について、新型コロナウイルス感染症の影響等による収支減（約20億円）が見込まれるものの、シーリングによる財源確保等により、令和5年度末の基金残高は50億円を確保。

3 R5 末「市債残高」の大幅縮減 △145 億円

◇ 新型コロナウイルス感染症対策として、全ての小・中学校の普通教室等にエアコンを設置すること等の環境整備を追加しつつ、市債発行額の抑制に努め、H30年度決算と比較して、R5年度末市債残高（臨時財政対策債を除く）は145億円（872→727億円）を縮減。

予算編成方針

1 予算編成の方向性

- ◇ 新型コロナの影響等による収支減を見込み、収支減分は地方交付税や減収補填交付金等により賄うものの、不足分は歳出全般の不断の見直しにより財源捻出を図る。
- ◇ また、感染拡大防止と社会経済活動の両立に総力を挙げて取り組むとともに、ポスト・コロナを見据えた新たな青森市のまちづくりに挑戦していく「攻め」の姿勢に転じた「あおもり、挑戦！」の新たなステージを目指す。
- ◇ このため、予算の重点化を図るために特別に指定した事業については所要額要求を認める（チャレンジ枠：新規拡充3億円程度）。

2 シーリングによる財源対策と施策の硬直化の抑制

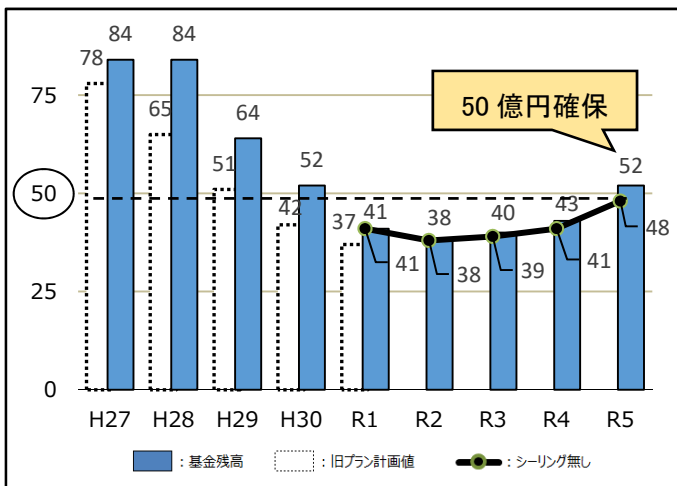
- ◇ 裁量的経費・投資的経費はマイナスシーリング。
- ◇ 投資的経費のうち市民生活密着分※は前年度以内。

※道路の舗装・側溝、市営住宅及び公園遊具等の修繕など

【R2当初予算】		【R3予算要求】	
裁量的経費	一般財源ベース (義務的経費除く)	前年度 90%以内	前年度 90%以内
投資的経費(単独)		前年度 90%以内	前年度 95%以内
投資的経費(補助)		前年度 95%以内	前年度 95%以内
一般管理・施設管理		前年度以内	前年度以内

【グラフ①】財源調整のための3基金残高の推移

(億円)



【グラフ②】市債残高の推移

(億円)

